

1 単元名 「馬のおもちゃの作り方/おもちゃの作り方をせつめいしよう」

2 単元・教材について

おもちゃ作りという題材は、児童が興味をもちやすく、意欲的、主体的に取り組むことができる。また、生活科「動くおもちゃを作ろう」と関連させ、自分が作ったおもちゃの作り方を説明する文章を書くため、児童にとって取り組みやすい教材である。

本教材は、「読むこと」の領域の「馬のおもちゃの作り方」と「書くこと」の領域の「おもちゃの作り方をせつめいしよう」の2つの教材を関連付けて構成されている。「馬のおもちゃの作り方」は、〈はじめ〉〈材料と道具〉〈作り方〉〈楽しみ方〉のまとまりで述べた文章である。また、〈作り方〉を文章、図・写真で示すことで、おもちゃが出来上がる様子をとらえやすくなっている。馬のおもちゃを作る活動は図画工作科の授業で実施する。

「おもちゃの作り方をせつめいしよう」では、自分のおもちゃの作り方を説明する文章を書く活動につながる構成になっている。

3 研究との関わり

- (I) - 1 単元の終末で、おもちゃの作り方を説明する文章を書くという自分の学びを発揮できる単元指導計画を作成する。
- (II) - 2 深めの活動で、順序を表す言葉を例文に入れることによって、説明する文章の順序を表す言葉に気付く。

4 単元の目標

◎「馬のおもちゃの作り方」を読んで、文章のまとまりや順序を表す言葉に着目し、説明する文章の工夫を見つけることができる。

◎分かりやすい説明の仕方を考え、〈はじめ〉〈材料と道具〉〈作り方〉〈楽しみ方〉の順番に沿って書くことができる。また〈作り方〉では、順序を表す言葉や図・写真を使って文章を書くことができる。

単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2ア)	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。(B1イ) 「読むこと」において、順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C1ア)	事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿っておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。

5 単元指導計画

時	単位時間の目標	評価規準	並行書
1	1 「馬のおもちゃの作り方」を読むことに興味をもち、4つのまとまりで書かれていることに気付き、学習の見通しをもつことができる。	「馬のおもちゃの作り方」は〈はじめ〉〈材料と道具〉〈作り方〉〈楽しみ方〉のまとまりと順番で書かれていることに気付いている。(思考力・判断力・表現力等)	手作り工作レクリエーション/うごくおもちゃをつくらう！
2	2 〈はじめ〉〈材料と道具〉を読む活動を通して、それぞれのまとまりに書かれている内容を読みとることができる。	〈はじめ〉〈材料と道具〉には、作るおもちゃ、準備する物が書かれていること気付いている。(思考力・判断力・表現力等)	
	3 〈作り方〉の前半を読み取る活動を通して、具体的な数字、図・写真など説明の工夫に気付き、分かりやすい文章の書き方を見つけることができる。	〈作り方〉の前半を読み取る活動を通して、具体的な数字、図・写真を使うと、読み手にとって分かりやすい文章になることに気付くことができる。(思考力・判断力・表現力等)	
	4 〈作り方〉の後半を読み取る活動を通して、具体的な数字、図・写真など説明の工夫に気付き、分かりやすい文章の書き方を見つけることができる。	〈作り方〉の前半を読み取る活動を通して、具体的な数字、図・写真を使うと、読み手にとって分かりやすい文章になることに気付いている。(思考力・判断力・表現力等)	
	5本時 〈作り方〉の冒頭の一文を正しく並び替える活動を通して、接続詞の順序性に気付き、順序を表す言葉を使うと読み手にとって分かりやすい文章になることに気付き、文章構成を捉えることができる。	〈作り方〉の全体を読み取る活動を通して、順序を表す言葉を使うと、読み手にとって分かりやすい文章になることに気付いている。(思考力・判断力・表現力等)	
6 〈楽しみ方〉を読む活動を通して、書かれている内容を読み取り、「おもちゃの作り方」の書き方について理解することができる。	〈楽しみ方〉には、おもちゃの動かし方、読み手への呼びかけが書かれていること気付いている。(思考力・判断力・表現力等)		
3	7 生活科の学習で作ったおもちゃを説明する文章を書く学習への見通しをもち、説明したいおもちゃの材料や道具を考えることができる。	説明するおもちゃの材料や道具を書き出している。(思考力・判断力・表現力等)	
	8 文章の組み立て、順序、文章に入れる図・写真に気を付けて、おもちゃを説明する文章を書くことができる。	順序を表す言葉（「まず」「次に」「それから」「最後に」など）を使って、おもちゃを説明する文章を書いている。(思考力・判断力・表現力等)	
	9 書いた文章を見直し、これまで学習してきた説明の工夫を使って書いているか確かめることができる。	文章を見直し、分かりづらいところを書き直すなど、文章をよりよくしている。(思考力・判断力・表現力等)	
	10 友達と説明する文章を読み合っ感想を伝え合い、「馬のおもちゃの作り方」の学習を振り返ることができる。	友達と書いた文章を読み合い、感想を伝え合っている。(学びに向かう力・人間性等)	
11			

## 6 本時のねらい (5/11)

<作り方>の冒頭の一文を正しく並び替える活動を通して、接続詞の順序性に気付き、順序を表す言葉を使うと、読み手にとって分かりやすい文章構成を捉えることができる。

## 7 本時の展開

単元のきよみずガエル君 説明する文章を分かりやすく書くために、自分が気をつけたいことは何かな。

### 第3ブロック(終末)

**振り返り(きよみずガエル君)**

- ・順序を表す言葉を使って説明する文章を書きたい。
- ・まず、つぎに、それから、さいごにという言葉を使って書きたい。

**まとめ**

説明する時は、順序を表す言葉を使うと読み手にとって分かりやすい文章になる。

- ・<作り方>で見つけた説明の工夫を振り返り、分かりやすい文章を書くために、気をつけたいことを書く。
- ・きよみずガエル君では、第3次で自分がどのように書きたいかを振り返る。

### 第2ブロック(展開)

**課題**

じゅんじよを表す言葉に気をつけて、文をならびかえよう。

**読み取る(一人読み↓全体交流)**

学習場面を音読をする。

どんな手順で作るといいかな。

まず、馬の体やあしになるぶひんを作ります。

つぎに、馬の体を作ります。

それから、馬のあしを作ります。

さいごに、顔を作ります。

これで、馬のおもちやのできあがりです。

どつしてこの順番に並び替えたのかな

まずは、一番初めに使う言葉だから。

さいごには、終わりの部分に使う言葉だから。

これでは、まとめの部分に使う言葉だから。

**深めの活動**

文章を読んで、当てはまる言葉を入れよう。

まず、毛糸のはしを、まっぼっくりにきつくまきけます。

つぎに、毛糸のはんたいがわのはしを、紙コップのそりにつけます。

それから、その毛糸をはさむようにして、もう一つの紙コップをのせます。

さいごに、紙コップにカラーペンできれいなもようをつけて、できあがりです。

- ・「まず」「つぎに」「それから」「その後」「さいごに」「これで」が順序を表す言葉であることを確認する。
- ・全員が並び替えができるように、順序を表す言葉が書かれている文のカードを渡し、操作できるようにする。
- ・順序を表す言葉の順番を確認する。
- ・並び替えた理由を聞くことで、順序を表す言葉の意味を確認できるようにする。

### 第1ブロック(導入)

**前時までの学習の振り返り**

前時のまとめを読む

- ・具体的な数字や図・写真を使うと読み手にとって分かりやすい文章になる。

**つかむ**

・<作り方>の全体の文章を提示し、順序を表す言葉について学習する意欲をもつ。

- ・前時のまとめを読み、本時の見通しをもてるようにする。